

研究課題名	胃癌発生におけるスルホムチンの役割
研究体制	<input type="checkbox"/> 飯山赤十字病院が責任研究機関となる <input checked="" type="checkbox"/> 他施設の責任研究機関となる共同研究
研究責任者	責任研究機関 所属 信州大学医学部分子病理学教室 氏名 中山 淳 当 院 所属 消化器内科 氏名 山田 重徳
研究期間	承認後 ～ 2018年08月31日
研究概要	(研究の意義・目的) スルホムチンは硫酸基を含む酸性粘液で古くから胃癌細胞から分泌されていることが知られていますが、その意義については殆ど判っていません。本研究では胃癌におけるスルホムチン産生の意義を明らかにすることを目的としています。  (方法) 内視鏡的粘膜切除された胃癌の病理組織標本に、スルホムチンに対するHID染色等を行い、スルホムチン産生の有無と病理組織学的所見の関連を比較します。
研究対象患者様	2004年1月1日～2018年05月31日の期間に当院で胃粘膜内視鏡的切除をうけられた早期胃癌患者様
利用検体	病理診断のために作製されたパラフィン包埋組織ブロック
利用カルテ情報	年齢、性別、病理診断
個人情報の保護	利用する患者様のデータは、誰のデータはわからなくした（匿名化といいます）上で使用いたしますので、当院外へ個人情報ができることはありません。国が定めた倫理指針（人を対象とする医学系研究に関する倫理指針）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究成果の発表に際しても個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	この研究にご自分の診療記録等を利用することをご理解いただけない場合、またはご不明な点については下記の問いお合わせ先までご連絡ください ますようお願いいたします。  〒389-2295 長野県飯山市大字飯山226-1 TEL : 0269 (62) 4195 FAX : 0269 (62) 4449 飯山赤十字病院 所属 医療技術部病理技術課 氏名 松浦 博之